# ユネスコスクール便り

平成30年 9月19日 大牟田市ユネスコスクール 担当者通信 №68



### 大牟田市の全市立小・中・特別支援学校は 全校、ユネスコスクールに加盟しています!

#### ユネスコスクール・ESD全国実践交流会in大牟田 開催!

平成30年度の全国実践交流会が、「みんなで語り合おう、SDGsに向けたESDの次なるステップ」をテーマに行われました。全国から300名を超える参加者 があり、盛会のうちに終えることができました。午前中の全体会では、日本ユネスコ国内委員会委員、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター主 幹研究員及川幸彦先生に、「ESDとSDGsについて」と題して講演をしていただきました。午後は、4つの分科会に分かれて熱心な討議が行われました。今回 の実践交流会の成果をもとに、子どもたちの実態をふまえ、各学校の特色を生かして取り組んでいきましょう。



▲主催者あいさつ 大牟田市教育委員会 安田 昌則 教育長



▲環境省大臣官房 環境教育推進室 河野 诵治 室長



及川 幸彦先生

## 日本ユネスコ国内委員会委員の及川先生は、持続可能な開発を達成するため

ESDとSDGsについて ~持続可能な社会の創り手を育成するESD~

には、「経済成長・社会的包摂・環境保護」の3つの主要素を調和させることが不 可欠であることを指摘されました。そして、GAP(グローバル・アクション・プログラ ム)や新学習指導要領とESDとの関係、めざす資質・能力とESDの関わりについ て説明をしていただきました。これらを踏まえ、SDGsがめざす5つのP(People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership)がそろえば、持続可能な社会ができ るとのことでした。

その上で、「SDGsの全ての目標達成に貢献するESD」「SDGsを取り入れたES Dの推進」について、大牟田の例を紹介されました。SDGsをESDに生かす5つの 視点として、「ESDの取組の関連付け・整理」「取組の国際的な課題への貢献」「目 標の相互関連」「焦点化」「教育の重要性」を挙げられました。



▲大牟田市あいさつ 甲斐 茂利 副市長

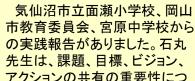


▲ESD活動支援センター 鈴木克徳副センター長

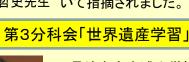


▲福岡教育大学

### 第1分科会「地域学習」



アクションの共有の重要性につ 石丸 哲史先生 いて指摘されました。





▲奈良教育大学 中澤静男先生

長崎市立大浦小学校、宗像市 教育委員会、高取小学校から実 践報告があり、中澤先生からは「 見方・考え方」の育成、価値観の 育成等について、学習指導要領 をふまえた話がありました。

### 第2分科会「海洋教育」



気仙沼市立鹿折小学 校、彦根市立佐和山小 学校、大牟田の3校から 報告があり、海洋教育

の多様性について、助 ▲東京大学特任研究員 川上真哉・加藤大貴先生言をいただきました。

#### 第4分科会「地域ESD学び合いフォーラム」



福岡県立ありあけ新世 高校、城南高校、長崎 県立対馬高校からの実 践報告をふまえて、若年

世代の交流を行うひとときとなりました。

▲文部科学省 国際統括官付専門官 徳留 丈士 氏

センター 澤 克彦 氏